

キャンペーンを単発バズで終わらせない!

ACジャパン/日本動物愛護協会「犯罪者のセリフ」

# 切なすぎるSNS投稿画像キャンペーン



公益財団法人  
日本動物愛護協会

捨てられた犬は、  
ジブンのことより、  
姿を見せない飼い主を  
心配しているかもしれない。

どんな理由があろうと、どんなに心を痛めようと  
動物を捨てること・虐待することは犯罪です。



公益財団法人  
日本動物愛護協会

「ごめんね。」  
娘は何も悪くないのに、  
娘が謝っていた。

どんな理由があろうと、どんなに心を痛めようと  
動物を捨てること・虐待することは犯罪です。



公益財団法人  
日本動物愛護協会

サクラは、楽しそうに、鳴いていた。  
最後の散歩、なのに。

どんな理由があろうと、どんなに心を痛めようと  
動物を捨てること・虐待することは犯罪です。



公益財団法人  
日本動物愛護協会

首輪を外したとき、  
サクラは嬉しそうだった。  
証拠が残らないように、  
外しただけのに。

どんな理由があろうと、どんなに心を痛めようと  
動物を捨てること・虐待することは犯罪です。



公益財団法人  
日本動物愛護協会

涙は、  
次の飼い主を  
探してくれない。

どんな理由があろうと、どんなに心を痛めようと  
動物を捨てること・虐待することは犯罪です。

## <課題>

きっとバズるけど、  
それで終わりにしたくない!

ACジャパンのメインキャンペーン(他部門応募)は、一年間  
同じ素材が使われる。ローンチ時に話題になればなるほど、  
残りの期間で新鮮味がなくなってしまうリスクがあった。



メインキャンペーン  
B1ポスター

## <アイデア>

CMの世界観を深掘りした  
切なすぎるグラフィックを定期的に投稿。

日本動物愛護協会のフェイスブックページに、切なすぎるグラフィックを  
定期的に投稿。単発のバズで終わらせず、キャンペーンの話題化が  
継続することを狙った。

## <結果>

「何度見ても泣けます」  
「涙が出ました」などのコメント、  
通常の数倍のシェアにつながる。

SNS投稿がインターネットメディアに取り上げられるなどの反響。  
フォロワーから、そのフォロワーへシェアが広がっています。